

【教育・文化】

いつまでも、
心豊かなふるさとづくり。



小中学校の義務教育から、生涯教育は始まっている

学校・家庭・地域が連携し、いつでも、どこでも、誰でもが、相互に教え、学び合う。村民一人ひとりが村の歴史や文化を大切に、その上で村の将来を語り合う。地域全体が、そんな望ましい学習の場になることを目指して、村では積極的に生涯学習活動を推進しています。

その拠点となるのが、平成7年に設けられた「大信村生涯学習推進本部」です。ここでは、時代の動きやニーズを的確に把握しながら、英会話教室やパソコン教室など、さまざまな学習の場を村民に提

供しています。義務教育についても、生涯教育の一環としてとらえ、村内の3つの小学校と一つの中学校・幼稚園では、知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指すとともに、一人ひとりの個性を尊重し、基礎・基本を重視した教育の充実を図っています。

さらに当村が芥川賞作家「中山義秀の生地」である誇りを後世に伝え、心豊かなふるさとづくりにつなげたい——と文学賞の制定、作文コンクールなどの事業を行っています。



生涯学習と地域リーダーの育成を目指す夢創塾「ごんたくらゼミ」



村民が、1年間の成果を発表する「村民文化祭」



学びを通して、子どもたちと村の未来が広がる

る た い し ん の 創 造



【保健・福祉】

健康な笑顔が、
むらの宝物。



自分にあった生涯スポーツで、健康づくり

「いつまでも、健康で長生きしたい」という村民共通の願いを可能にするためには、村民自身の健康の自己管理、節度のある生活、健康スポーツの実施などが欠かせません。村では、「飲マNDER（適正飲酒）運動」や「8020運動」の実践などにより、「守る健康からつくる健康」という意識を高めながら、保健・医療体制の充実・強化を進めています。

高齢化の進む現代、高齢者の健康問題

は、当村でも大きな課題です。そこで村は、「大信村地域福祉センター」でデイサービスや介護講習会などを実施することで、住み慣れた地域で高齢者がより快適に暮らせるよう支援を続けています。

さらに、村では地域福祉センター周辺一帯を「ふくしの里」と名付け、村民が世代を越えて健康、医療、福祉、文化、スポーツなどを通じて交流できる拠点として、整備を進めています。



「80歳まで20本の歯を残そう！」歯科検診で虫歯をチェック



住み慣れた村での暮らしを支えるデイサービス



村の保健福祉の拠点・大信村地域福祉センター